

「中学生の税についての作文」 優秀作品表彰

11月28日、役場において「中学生の税についての作文」（納税貯蓄組合連合会主催）の表彰式が行われました。富士見中学校から、作文153点が応募され、そのうち1名が「諏訪納税貯蓄組合連合会長賞」を受賞、5名が「富士見町長賞」を受賞しました。

【受賞作文】

● 諏訪納税貯蓄組合 連合会長賞

「税金をよく知ること」

富士見中学校3年 清水 天幸

● 富士見町長賞

「支え」

富士見中学校3年 小林 愛美

「日本人で良かった」

富士見中学校3年 小池あかり

「税について」

富士見中学校3年 平出 怜

「税の大切さ」

富士見中学校3年 伊藤奈々華

「税について」

富士見中学校3年 五味 夢叶

◎受賞作文から2点をご紹介します。

「税金をよく知ること」

富士見中学校3年 清水 天幸

僕の父は長野県の公務員をします。毎日、朝はやくに起床し、夜はヘトヘトになって帰ってくる頑張る父を、僕は尊敬しています。そんな僕の父が一年前、「税務課」というところに勤めていた時の話です。

その日、父はいつになく疲れた様子で帰ってきました。僕が父に「何かあったの？」と聞くと、父は「今、所得税をなかなかすつきりと納めてくれない人がいて、困っているんだよ。税金を納めることは国の法律で決まっているんだから、納めてもらわなくちゃいけないんだけど、それがなかなか・・・。」と言って苦笑いをしていました。

僕は、この父の言葉を聞きながら「税」とは何か、なぜ納めるのか、などを考えました。



「税」とは、自分達の生活を成り立たせるための大切な資金だと思えます。例えば、いつも収集日になるとゴミ収集車がやってきてゴミ処理を行ってくれます。こんな当たり前のことも、もし僕達が税金を納めていなければ、当然回収にも料金が発生し、その料金すら支払わなかったらゴミは腐敗し、町は悪臭が漂い大変なことになるでしょう。

また、火事の時、僕達を救ってくれる消防士さんや治安を守ってくれている警察の方も、僕達が納めている税金で運営しているのです。もしも、税金を納めていなかったら、火事や法が侵されようとしている時、消防士さんや警察の方は来てくださ



らないでしょう。そんなことになったら、まず僕達の命は助かりません。道を舗装し、歩きやすくする。川に大きな橋をかけ、より短時間で目的地まで着けるようにする。もし事故があつて、ミラーや縁石が破損したらなおす。どれもこれもみんな、税金によって成り立っているのです。

そして、これからの未来を担っていくであろう僕達が、沢山のことを学ぶために使っている教科書も、税金によって無償で支給されているのです。これがなくなれば貧しい人とお金持ちの人とで教育格差が生まれ、僕達が正しい知識、多くの知識を持ち合わせていないせいで、世の中が大変な方向へと進んで行ってしまうかもしれません。

こんなに税金とは大切なものであること、無くてはならないものであることを、僕は一番身近な人から教えてもらったような気がします。

僕も大人になれば「税」を納めるでしょう。そんな時には、このことを頭の片すみに置き、僕達の生活に携わる全ての人達に感謝しながら、僕自身の「納税の義務」をまっとうしたいです。

「支え」

富士見中学校3年 小林 愛美^{こぼし えみ}

「進学おめでとう」

四月。二年生から三年生へと進級した私達に、担任の先生が祝福の言葉をくださいました。昨年まで先輩方が使っていた教室には、涼しげな風が吹きこんでいます。

「これから、一年間使っていく教科書を配ります」

教卓には、まだ折り目が一つも付いていない真新しい教科書の数々が、山のように重なっています。担任の先生は私達一人一人に配りながら、こんな話をしてくださいました。

「この教科書達は、皆さんのお家の方が国に税金として納められたお金を使って作られ、皆さんの元へこうして届けられました。この国の全ての大人が、皆さんの勉強、将来を応援してくれているのです」

私は机の上に置かれた教科書を見つめながら、先生のお話を嘯みしめていました。

「その応援を無駄にしないよう、これからも勉学に励んでいってください」先生はそう言うと、チョークを手にとって黒板と向き合いました。黒板に淡々と刻みこまれていく白いきれいな文字をぼんやりとながめながら、私は先程の先生の言葉を思い返しました。

「私が毎日こうして不備なく勉強ができてるのは、この国の「税」



を納める全ての方の支えがあるからなのだ」そう思うと、「より一生懸命勉強しなくては」という気持ちにさせられます。

教科書だけではありません。チョーク、机、イス、校舎の建設や修理に至るまで全て多くの人が納められた税金によってまかなわれていると聞きました。国の治安維持や道路等の公共設備の整備など、私達が安心して日々楽しい生活を送ることができるように、税は使われているのです。

もちろん、本当は必要ないかもしれないところに使ってしまったというケースもあるかもしれませんが。そういった面を、これから一人の大人として成長し、社会に飛び立つ私達が、今まで私達の学習を支えてきてくださった方々への恩返しのできるだけ、一つ一つ改善していかなければならないと思います。

始業式を終えて家に帰宅すると、両親と祖父母が出迎えてくれました。「ただいま」

私は今日も、沢山の方に支えてもらいながら生きています。